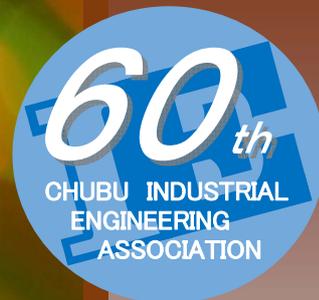


◆ 年間登録メンバー募集のご案内 ◆



2019 年度

生産物流研究部会

全体最適の物流による生産性向上

～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～

2019
6/11

2020
2/21

1 生産物流研究部会

2 生産システム研究部会

3 モノづくり人材育成研究部会

4 モノづくり競争力研究部会

5 生産現場改善研究部会

6 葦クラブ研究部会

登録メンバー特典

2019年 7月30日 (火)

生まれの良い工程づくり講座

2019年度 生産物流研究部会

製造業における生産性向上のためには、部分最適ではなく、全体最適を前提とした準備段階からの物流システムの仕込みがカギを握ります。そこで、モノと情報の流れをスムーズにすることで、そのネック・停滞の部分を見える化し、課題一つひとつに対して工夫・改善を行い、生産性向上に結びついた事例の研究を通して、モノづくりにおける最適物流について探究します。

皆様のご参加・ご登録のほど宜しくお願い申し上げます。

年間テーマ

「全体最適の物流による生産性向上」 ～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～

第1例会

と き	2019年 6月11日(火)・12日(水)	13:30~17:00	【主な生産品目】 SUV・バス系のシャシー、 ボデー部品
と ころ	トヨタ車体(株) 吉原工場	(愛知県豊田市)	

「お客様のニーズに即応できるモノの流し方と工程づくり」

～ 新製品を見据えた“現場発信型”の改善活動 ～

トヨタ車体(株)

吉原工場 副工場長 宮本 伸行 氏

トヨタ車体(株) 吉原工場は、“ランクルのふるさと”として半世紀以上に渡りSUV・バス系の部品をタイムリーに生産し供給する重要な拠点となっている。シャシー組立工場でもハイテク装備のランクル200・レクサスLXからバンタイプのランクル70まで、一本のラインで全く構造が異なる別物の車を混流で生産、そのための専用設備、大きな部品間口、物流の乱流や島工程が点在し、改善が進まず変動変化に弱い工程になっていた。今回は、TPSを基軸に新製品を見据え『稼ぎ続ける体質強化』と『高効率なラインづくり』をテーマに、工場主体で現場を変える工程・物流スルーで改善した事例についてお伺いする。

第2例会

と き	2019年 8月 8日(木)・ 9日(金)	13:30~17:00	【主な生産品目】 システムキッチン
と ころ	(株)LIXIL 深谷工場	(埼玉県深谷市)	

「生産と物流が調和したサプライチェーン改革」

～ 生産と物流が調和した整流化・自動化の取り組み ～

(株)LIXIL

深谷工場 工場長 大津 達也 氏

(株)LIXIL 深谷工場は、システムキッチンを受注生産し、東日本地区に出荷している。古くに稼働した同工場は、増築を重ね、生産ラインは「乱流」していた。しかし、2014年に関東地方を襲った大雪により、工場建屋の屋根が崩落するなど大きな被害を受けた。そこで、建屋の建て替えをきっかけに、物流と調和した生産ラインの「整流化」を図り、製作・加工エリアと組立ラインの整理や荷さばきなどの自動化に取り組み、生産効率を上げている。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

第3例会

と き	2019年10月 3日(木)・ 4日(金)	13:30~17:00	【主な取扱品目】 自動車用品 (エアロパーツ、アルミホイール等)
と ころ	キムラユニティー(株) 春日井東事業所	(愛知県春日井市)	

「ロボットと人の融合による物流倉庫の効率的な運営」

～ ロボット導入に現場の改善ノウハウをプラス ～

キムラユニティー(株)

執行役員
ロジスティクス・サービス事業本部 副本部長 安部 裕二 氏

キムラユニティー(株)では、物流サービス事業(物流センター運営・格納器具製造など)を展開している。同社春日井東事業所では、物流現場における更なる労働力不足を見据え、ロボットの導入を積極的に行い、(株)トヨタカスタマイジング&ディベロップメント様のエアロパーツの保管・入出庫業務を請負っている。ロボット導入に関しては人の作業とのリンクを前提とし、ハイブリッドな物流現場を構築して省人に繋げている。そこで今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

■ 当部会の企画・運営におけるご協力をお願いしております。（順不同）

運営幹事

アイシン・エイ・ダブリュ(株) 生産管理本部生産物流部部長 笠原 勝氏
 ㈱イノアックコーポレーション 物流部部長 山崎 和雄氏
 (株)オティックス高岡 高岡製造部物流課課長 河野 秀明氏
 小島プレス工業(株) 生産企画部生産管理課担当 高梨 智氏
 トヨタ自動車(株) T P S 本部生産調査部主査 溝江 真二氏



▲ 写真はグループディスカッション風景
 ※ グループディスカッションでは、参加者が小グループに分かれて相互意見交流会を行います。

基本運営スケジュール 13:30~17:00

- ① 会社概要説明・テーマのプレゼンテーション
- ② 工場（現場）見学
- ③ グループディスカッション
- ④ 発表・質疑応答

と き	2019年11月19日(火)・20(水)	13:30~17:00	【主な生産品目】 制御系ECU(電子制御ユニット)、ナビゲーション
と ころ	(株)デンソーテン 中津川製作所	(岐阜県中津川市)	

「人中心の工程づくりにおける構内物流改善」

～ 運搬・ムダな手扱いの削減 ～

第4例会

(株)デンソーテン

中津川製作所製造企画室 室長 衛藤 良二 氏

(株)デンソーテン 中津川製作所は、自動車部品の制御系電子機器を生産している。同工場の部品受入れは従来、部品を棚で一時置きするPCストア（部品倉庫）まで運搬・棚入れし、PCストアから製造フロアに運搬台車を使用して部品供給していたため、ムダな運搬と手扱いが多かった。そこで、PCストアを廃止し、部品受入れから直接ピッキングして運ぶように改善を行い省人につなげている。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

と き	2020年 1月15日(水)	13:30~17:00	【主な取扱品目】 ネジ工具締結部品関連品
と ころ	サンコーインダストリー(株) 東大阪物流センター	(大阪府東大阪市)	

「ネジ出荷数増加に対応した物流体制の構築」

～ 蓄積データの活用と物流作業の効率化でリードタイム短縮 ～

第5例会

サンコーインダストリー(株)

物流第1部 部長 山口 幸三 氏

サンコーインダストリー(株) 東大阪物流センターでは、100万アイテムの在庫をストックし、最新設備とITを活用した物流体制を構築している。近年、計量して販売する1入り商品の受注オーダー数などの増加に伴い、商品投入箱数の増加や、仕分作業における作業者の歩行距離の増加など作業効率の低下が懸念された。そこで、過去の顧客毎の受注データを解析し、ピッキング方法の変更や荷造り・検品作業工程の簡素化を行い、1日あたりの業務終了時間を平均で7分短縮、他作業への応援も可能となり全体の作業時間の短縮につなげている。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

と き	2020年 2月20日(木)・21日(金)	13:00~17:00	【主な生産品目】 複合機やプリンターの基幹部品
と ころ	富士ゼロックスマニュファクチャリング(株) 鈴鹿事業所	(三重県鈴鹿市)	

「XPWによる構内物流の改善活動」

～ 部品の受入れから払い出しの整流化 ～

第6例会

富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)

鈴鹿事業所製造管理部
物流グループ グループ長 櫻木 善仁 氏

富士ゼロックスマニュファクチャリング(株) 鈴鹿事業所では、複合機やプリンターの基幹部品を生産している。同社では、独自の生産方式である「XPW (Fuji Xerox Production Way)」に基づく生産革新活動を推進しており、従業員全員参加型の改善活動を展開し、部品や設備の内製化や部材のジャストインタイム生産に取り組んでいる。また、その中で、構内物流現場では、部品の受入れから払い出しの整流化と改善活動に取り組み、生産リードタイムの短縮につなげている。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

開 催 要 領

参加対象

IE、物流、生産管理、生産技術、製造部門の方 等

運営方法

- ①各例会を2日間に分けて行います。ご参加頂ける日程は、別途ご案内申し上げます。(第5例会除く)
- ②集合場所・時間等の**詳細案内を開催の約1カ月前に登録メンバーへEメールにてご案内**しますので、都度、ご出欠をご返信ください。なお、同じ組織であれば、登録者以外(代理)の方の参加も可能です。
- ③各例会とも指定の集合場所・時間に**各自でご集合下さい。現地集合・現地解散**
- ④**視察先の都合により、同業者の方々のご参加をお断りする場合があります。**
その際は、他の例会への振替参加(+1名)をご案内いたします。
止むを得ない理由により、開催日時の変更が発生する場合がありますのでご了承願います。
- ⑤各例会とも、**録音・写真撮影はご遠慮願います。**
- ⑥年間の運営ガイダンスは第1例会の際に行います。

年間登録費

中部IE協会会員	80,460円	〔1名につき、 資料代・消費税8%を含む〕
一般	118,260円	

- ①年間登録費については、申込受付の後、請求書を送付させていただきますので、**6月10日(月)**迄に下記の指定銀行へお振り込み願います。
なお、**銀行へ支払う振込手数料につきましては、お客様のご負担**となりますので、ご了承願います。
- ②年間登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構ですが、その際は申込書に振込日をご記入いただき、請求書不要の欄にチェック☑を付けてください。

口座名義:中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店 普通 No. 1602917	名古屋銀行上前津支店 当座 No. 3116141
愛知銀行本店営業部 当座 No. 2678	りそな銀行名古屋支店 当座 No. 494070
中京銀行本店営業部 当座 No. 112438	

- ②**6月4日(火)以降の参加取り消し**につきましては、年間登録費の返金を致しかねます。
(ご登録者の変更をお願いいたします)

申込締切日

2019年 6月 4日(火)

登録申込書に必要事項をご記入の上、FAX 又は 郵送にてご送付願います。
(締切日を過ぎる場合は予めご連絡下さい)

メンバー特典

当研究部会の登録特典として、1名に限り、下記の講座へ**会員価格の半額**でご参加いただけます。
詳細は個別案内状をご送付申し上げますので、是非ご参加下さい。

2019年 7月30日(火) 生まれの良い工程づくり講座(21,600円→10,800円 消費税8%含む)

※ 個人情報の取り扱いについて

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。
なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。
参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただけますようお願いいたします。
2. お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
3. 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
4. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。 【個人情報に関する問い合わせ窓口 担当:齋藤・岩本 TEL052-221-1261】

お申込み・問い合わせ先

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)
TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265
<http://www.cpc.or.jp> 担当:堤・鬼頭

●中部IE協会 ホームページからもお申し込みいただけます!

中部IE協会

検索

2019.5.7(第2版)

2019年度 生産物流研究部会 [第1部会] 登録申込書

<フリガナ>

会社名

下記の通り登録申込みいたします。(昨年度登録申込みされている場合はこの申込書の送付は不要です。)

1	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				
2	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				
3	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				
4	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				

※ E-mailにて例会案内をお送りいたしますので必ずメールアドレスのご記入をお願いいたします。

請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み

請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

[振込み予定日をご記入下さい 月 日()]

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

※請求書は上記 **1** の方宛に送付させていただきます。

(80,460円・118,260円) [消費税含む] × 口 = 円

(事務局記入)

請求

No.202019

第1部会

生産物流研究部会

全体最適の物流による生産性向上 ～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～

モノと情報の流れをスムーズにすることで、ネック・停滞の部分を見える化し、工夫・改善を行い、生産性向上に結び付いた事例ならびに現場訪問を通して、モノづくりにおける全体最適物流について考察する。

第2部会

生産システム研究部会

リードタイム短縮による競争力向上 ～最適なモノづくりシステムの追求～

リードタイム短縮を基軸として、フレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例ならびに現場訪問を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて考察する。

第3部会

モノづくり人材育成研究部会

日本のモノづくりを支える人材の育成 ～技術・技能を次世代へ～

モノづくりの技能、生産技術、製造技術等、モノづくり現場で必要となる様々な要素について、計画的かつ組織的に次世代へ伝承・育成している事例ならびに現場訪問を通して、今、取り組むべきモノづくり人材の育成について考察する。

第4部会

モノづくり競争力研究部会

新たなモノづくりへのチャレンジ！ ～競争力を高めるモノづくり力とイノベーション～

自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・技術力をさらにレベルアップさせると共に、イノベーションによる新たな価値創造へのモノづくりに挑戦し続けて事例ならびに現場訪問を通して、競争力の本質について考察する。

第5部会

生産現場改善研究部会

たゆまぬ改善活動による現場力強化 ～知恵は無限、改善は永遠～

徹底的なムダ排除に向け、こだわりを持って改善活動を実践している、業種業態の異なる生産現場の事例ならびに現場訪問を通して、改善の着眼点・発想法のポイントを掴み、これからの現場力の強化について考察する。

第6部会

葦クラブ研究部会

挑戦の先に自ら創り出す 未来のモノづくり ～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

第一線で飽くなき挑戦を続ける方々から、その熱き想いと最新の事例を伺う事を通じ、モノづくりに係わる経営者の人間観、経営観の研鑽をはかる。